

ほけんだより 3月

太陽の子保育園 2020年度 3月号

まだ、風が冷たく感じる日もありますが、春はすぐそこまで来ています。寒い冬を一生懸命過ごした花や生き物も、そろそろ顔を出す頃です。ひとまわり大きく育った子どもたちが、これからどんな芽を出し、どんな花を咲かせるのか一緒に見守って行きましょう。

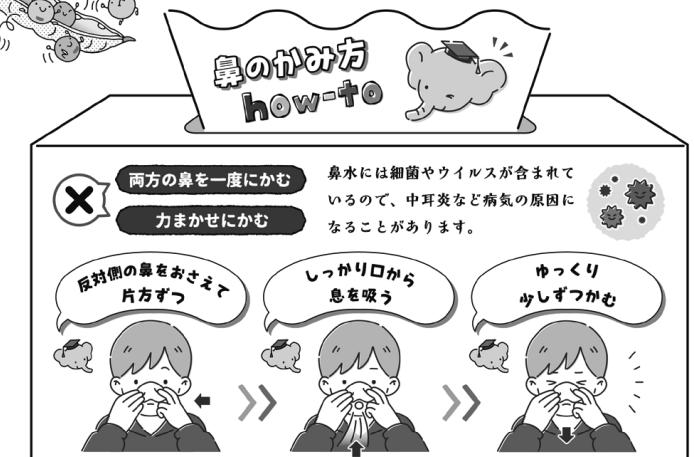
子どもの“聞く力”を育てるには

お子さんには、しっかりと相手の話を耳を傾けて理解できる力をつけてもらいたいものですよね。そんな“聞く力”は大人のサポートで伸ばしてあげることもできます。

●●●話す・聞くときは顔を見る●●●
話すときは、なるべく手を止めて目を合わせます。身近にいる大人がよいお手本となってあげましょう。

●●●●家族で伝言ゲーム●●●●●
「これから言うことを伝えてね」などと、伝言をお願いしてみましょう。ゲーム感覚なら楽しく挑戦してもらえますよ。

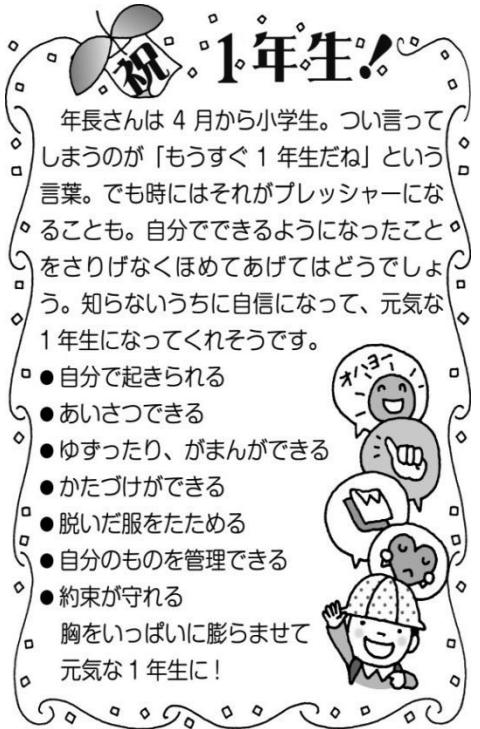
●●●●待ってあげる●●●●●
子どもは聞いたことを整理し、理解するまでに時間がかかります。急かさずに返事はゆっくり待ちましょう。



耳の日クイズ・わたしの名前は？

- Q** 細菌が増えるのを防ぐよ
耳の中の皮膚を守っているよ
虫が耳に入ってくるのをガードしているよ

A 正解は耳あかです。いらないものと思われがちな耳あかですが、役割はこんなにいろいろ。いつも耳の健康を守ってくれているんですね。そんな耳あかも、ためてしまふと耳がつまって聞こにくくなります。耳あかは入口近くにたまるので、耳そうじをするときは見える範囲を軽く拭き取りしてくださいね。



3月3日は「耳の日」です。

「耳の日」は、難聴と言語障害をもつ人の悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから始められたもので、日本耳鼻咽喉科学会の提案により、昭和31年に制定されました。

①語呂合わせ

- ②3という形が耳の形に似ているから
③グラハム・ベルの誕生日であったから

という理由により、3月3日が選ばれたそうです。

ん？グラハム・ベルってあの電話を発明した人？？
グラハム・ベルは電話の発明者として有名ですが、音声学と聾啞教育（医学的に見て重度の聴覚障害を持つ子を対象とした教育）の第一人者でもあります。

父親が発音学者、母親が難聴のピアニストであり、奥さんも難聴でした。

父親同様、ベル自身も発音の伝達を研究しており、これが後の電話の発明につながります。

また、シカゴにろう学校を設立するなど、聞こえの研究に生涯をささげた人物でもあったそうです。



子どもに多い 耳の病気

中耳炎

急性 中耳炎

中耳（鼓膜の内側）に、鼻やのどから細菌やウイルスが入って炎症を起こし、うみがたまる病気です。小さな子どもでは、かぜの後、鼻やのどの炎症に続いて起こることがよくあります。

主な症状

- ◆激しい耳の痛み
- ◆発熱
- ◆耳だれ
- ◆耳がつまった感じ

気をつけること

◆小さな子の様子に注意
耳が痛くても、言葉で症状を訴えられないことがあります。耳に手をやったり、理由もなく、ぐずるときは、体温の変化や耳の様子に注意してみてください。

渗出性 中耳炎

中耳腔（鼓膜の内側の部屋）に液体（渗出液）がたまる病気です。

急性中耳炎が完全に治りきらず、鼓膜の内側にうみが残って起こる場合があります。

主な症状

- ◆耳が聞こえにくい（難聴）
- ・何度も呼んでも返事をしない。
- ・テレビを見るとき、音量を大きくしている。

気をつけること

◆中耳炎の治療は、最後まできちんと受けること
治療を途中でやめてしまうと、慢性中耳炎に移行することがあります。「完全に治った」と言われるまで、治療を続けてください。

慢性 中耳炎

急性中耳炎が治らず、鼓膜に穴が開いたままになって起こる「慢性化膿性中耳炎」と、鼓膜の一部が耳の奥に入り込んでかたまりを作る「真珠腫性中耳炎」があります。

主な症状

- ◆慢性化膿性中耳炎
 - ・耳が聞こえにくい（難聴）
 - ・耳だれをくり返す。
- ◆真珠腫性中耳炎
 - ・耳が聞こえにくい（難聴）
 - ・めまい
 - ・顔面神経まひ

気をつけること

◆聞こえの様子に注意
以前にかかった中耳炎が原因で、聞こえが悪くなっている場合もあります。ときどき、聞こえの様子をチェックし、気になるときは早めに耳鼻咽喉科を受診してください。

